

今日も佐賀で働くあのひと。

# あしごと ストーリー

Vol. 12

あのひとは普段どんなお仕事をしているの？  
どうやったらなれるのか？をインタビュー  
するコーナーです。

特定非営利活動法人

ソシオの杜

住所／佐賀県吉野ヶ里町吉田2182  
TEL / 0952-55-1077  
<http://socio-m.com/>



えとう ゆみ  
江頭 裕美さん

ソシオエステティシャン  
特定非営利活動法人 ソシオの杜  
代表理事

## エステの技術を活かし心身のケアを ソシオエステティック

# 2

2007年に日本で養成講座が始まった『ソシオエステティック』

との出会いは、息子の病気がきっかけでした。急性骨髄性白血病で助かる確率は40%と言われ、1年間の闘病生活は、息子と私、家族の日常をすべて変えてしまいました。一日中息子の背中をさすり続けていたと、ほっとしたように眠っている瞬間がありました。私は、その瞬間を今でも忘れられずにいるのです。そんな中、日本エステティック協会を通じてソシオエステの存在を知りました。紹介された映像には、精神病院で患者さんにフェイシャルトリートメントをし、メイクをして鏡を見た時、全く無表情だったその顔が笑顔に変わった瞬間が映っていました。私は全身に鳥肌が立ち、心が震えたのを今でも鮮明に覚えています。

息子の病気が寛解したのを期に、久留米市でエステ店を経営しながら、1年かけて東京に通い、日本で第1期生となるソシオエステティシヤンの資格を取得しました。市民団体として普及活動を始め、『NPO 法人ソシオの杜』を設立。佐賀での依頼が増えたこともあり、吉野ヶ里町に拠点を移しました。設立からは、いろんな患者様との出逢いと別れがありました。

た。『娘の成人式を見るまでは』と抗がん治療を受け続けながら、『私も何か手伝えたい』と言ってくれた50代の女性。全身の痛みと闘いながら、私が一人前のソシオエステティシヤンになることを応援してくれた女性。『死ぬのがこわい』と涙を流されながらも、最後まで『ありがとう』と笑顔で言い続けて下さった男性。たくさんの方々天国で見守ってくださっているの、心が折れそうになつた時もあったけれど、ここまで続けてくることができました。

ソシオエステの特徴は、美容が目的の一般的なエステと異なり、がん患者や障がいを持つ方の身体と心をほぐし、生活の質の向上を目指す点。身体のケアだけでなく、死への不安、ご遺族の心の苦しみなど精神面のケアは、『施術する私たち自身の成長』にもつながっていると感じています。

7月には、佐賀大学医学部附属病院そばに、ソシオエステティック専門店をオープンします。コロナ禍の中で、ストレスや不安を抱えて、心や身体に違和感を感じられる方も、ぜひ『ソシオエステティック』を活用し、心と身体のケアをされてみてはいかがでしょうか。